



公益財団法人 星総合病院

けん こう

虹懸

令和元年5月 No.299

特集

星ヶ丘病院の歩みと 今後の展望

- 県中地域初の「医療被ばく低減施設」に認定されました！
- 開設94周年記念式典
- 郡山市福祉まるごと相談窓口
- こども事業部 News
- 院展入選作品「希望」除幕式
- 連携医のご紹介



都会 (F8, 1949)
星 一雄

醫

霊

今から約65年前、私は郡山市赤木町で生を受けた。安積幼稚園、赤木小学校と進み、自宅が赤木町から久留米に転居したことから第二中学校から第一中学校へ転校した。そんなことから小学校学区で言えば赤木、金透、芳山、薫、開成、桜とかなり広い範囲の友人を得ることができた。小学校の頃は旧病院が建つ前の紡績工場跡地で野球や虫取りをし、冬は赤木の坂で竹スキーをした。中学校の頃は旧病院ができ、外壁の大きな時計が腕時計を持てない当時の子供にはとても便利だった。その頃遊びすぎてお叱りを受けたおばちゃんやおじちゃんを、旧病院に赴任した頃は何でも外科でいろいろと手術をさせてもらった。その後はだんだんと乳癌が専門になり、同級生の母親や同級生、同年代の女性の手術が多くなり、今では30歳以上も若い人たちも手術患者の範囲に入ってきた。医師になって40年、星病院に赴任して30年になる。地元で医師の仕事ができることを幸せと思いつつ、ゲノム医療に対応できる乳癌診療の中核病院にするべく残りの人生をささげよう。

星総合病院病院長 野水 整

＜醫霊＞霊をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

星ヶ丘病院の歩みと今後の展望

星ヶ丘病院は、昭和30年に星総合病院の前身である星第一病院附属神経科病院として若葉町に開設し、昭和60年現在地に星ヶ丘病院として移転・開設しました。

平成31年1月の病院長交代を受け、沼田名誉病院長、竹内病院長のお二人にお話を伺うべく、座談会を行いました。

星ヶ丘病院病院長
竹 内 賢



星ヶ丘病院名誉病院長
沼 田 吉 彦

星ヶ丘病院総看護師長
阿 部 初 江

星ヶ丘病院事務長
渡 辺 順 一
(進行)



渡 辺 1月の病院長交代で、沼田病院長は名誉病院長に、竹内副院長は病院長に就任。4月に着任した阿部総看護師長を含め「星ヶ丘病院の歩みと今後の展望」についてお話を伺いたいと思います。



星ヶ丘病院の変遷と福島県の精神科医療の発展

渡 辺 沼田先生、長い間、星ヶ丘病院のトップとして、また福島県精神科病院協会会長として地域の精神科医療水準の引き上げに尽力され、様々な学会で評議員・代議員を務めるなど日本の精神科医療への貢献をされてきました。東日本大震災などもあった訳ですが、今のお気持ちはいかがですか。

沼 田 私は、星二郎前病院長のもと副院長として平成18年6月に入職、19年4月に病院長の職を拝命。微力ではありますが星ヶ丘病院の運営、福島県の精神科医療の発展のために取り組んで来ました。病

院長就任当初は多くの業務が重なり、大変な時期もありましたが平成22年4月からは竹内先生に副院長として補佐いただき、業務を遂行することができました。

大きな社会的課題となっている産業メンタルヘルスや認知症対策にも力を入れ、2年前には郡山で第5回認知症疾患医療センター全国研修会福島大会を開催し、県の認知症施策の推進に寄与しました。

東日本大震災では被災した星総合病院や浜通りの病院から、120人を超える患者さんの受け入れ要請があり、通常診療と並行して精神科だけでなく一般科の入院対応も行い、外来も毎日受診の方々で一杯だったことを思い出します。スタッフ

達もまたそれぞれが大変な状況の中で力を合わせ、地域の医療機関としてできる限りの対応を続けました。ガソリンが不足し磐梯熱海温泉から通勤したことや風評被害や交通混乱にてよって支援物資が届かず、県境まで受け取りに行って各精神科病院に搬送したことも昨日のこのように思い出されます。

入院から在宅・地域移行へ

渡 辺 病院長在任中は数回に渡る病棟再編がありましたが、どのような経緯で行ったのでしょうか。

沼 田 当院は昭和30年の開設から日本の精神科医療の流れに沿って増床を続けました。その後収容型の長期入院治療から地域生活への移行へと大きく変わっていく政策を受けて、長期入院患者さんの地域移行を進めてきました。平成25年を始めに、26年、27年、直近では29年8月に認知症治療病棟を閉鎖、急性期・身体合併治療・社会復帰・慢性期の4病棟にしました。患者さんの地域生活のため退院支援を行い、地域の先生方や法人職員などたくさんの方々にご協力いただきました。

渡 辺 竹内先生は1月に病院長になられて3ヶ月が経ちましたが、今のお気持ち、これからの病院運営についてお聞かせください。

急性期治療を中心とした運営と診療体制の再構築



竹 内 はじめに病院長就任のお話を頂いた時は、沼田先生の功績や精神科医療への強い想いを考えると、正直なところ重責す

ぎて私には務まらないと思いました。しかし、今はたくさんの職員に支えられ、患者さん、病院、そして地域医療充実のため、職責を全うしたいと考えています。特に重点的に取り組みたいのは、急性期治療病棟を中心とした病院運営はもちろんですが、今後更に増加する認知症患者の診療体制の再構築です。更には施設・療養環境の整備も精力的に進め「日本一の病院」を目指したいと考えています。

阿 部 病院長就任のご挨拶での「『日本一の病院』を目指す資質のあるスタッフが揃っている」というお言葉は私も含め、スタッフ一人ひとりが気持ちを新たにしたいと思います。

沼 田 これからは患者さん・利用者さんへのサービスの質の向上はもちろん、今まで以上に働く職員一人ひとりがやり甲斐や充実感を持ちながら働ける職場の環境整備が求められて来ますね。

竹 内 現在、法人全体で「働き方改革」に取り組んでいますが、やはり継続してきめ細かなサービスを提供していくには、人員の充実は大切だと思っています。働き易く、働き甲斐のある職場を作り、皆さんには長く勤めて頂きたいと思っています。

阿 部 看護部では今年度「心に残る医療・看護の提供」を目標に掲げていますが、自分が幸せで、心身共に安定していないと患者さんに十分な看護はできないと思いますので、スタッフへのケアも考えていきたいです。



連携強化と新たな付加価値の確立

渡 辺 最後にお二人の先生に、これからの星ヶ丘病院、または今後の精神科医療について、お聞きしたいと思います。

沼 田 今後もまた、日本の精神科医療は大きく変わっていくことと思います。その中で当院は独自の強みを活かしながら、地域の医療保健福祉機関との連携を強める

ことで、地域のニーズに沿ったサービスを提供していかなければなりません。昨年12月にリニューアルオープンした新しいデイケアには期待が大きいところです。また、東日本大震災による影響は今後もまだまだ丁寧なケアが必要です。星ヶ丘病院は福島県の精神科医療の中でも重要なポジションにあり、教育・研修施設としての貢献も続けて行かなければならないところです。

竹 内 当院としては、星総合病院をはじめとした法人各施設との密な連携、地域の精神科クリニックとの連携、大学病院との学術的・人的交流、豊富な訪問看護資源、そして睡眠医療など他院にはあまりない専門医療等を強化発展させ、病院としての新たな付加価値を作っていく事が当面の目標になると思います。具体的には、臨床指標の標準化と患者さんへのフィードバックを通じて、医療の「見える化」に取り組むたいと考えています。

当院は施設の老朽化や人員不足も慢性化していますが、努力と工夫によって全国から目標とされる様な「仕組み」を作っていく事が目指すところであり理想です。その為には、病院の理念でもある「ここからだを最も癒せる病院」の実現のために何ができるか、スタッフひとり一人が考え、気持ちをひとつにして取り組んで行ける強い組織を作る必要があります。病院長として私に何ができるか、考え続けていきたいと思っています。

渡 辺 みなさん、ありがとうございました。「日本一の病院」を目指して、全職員これからも気持ちをひとつに取り組んでいきましょう。

星ヶ丘病院 沿革

昭和30年	財団法人星第一病院附属神経科病院 開設 50床 茶臼館（現若葉町）	
昭和36年	男子病棟・デイルーム新設	255床
昭和60年	星ヶ丘病院開設（片平町）	624床
平成 9年	精神療養病棟認可	599床
平成10年	精神科デイケア小規模認可 （平成13年 大規模認可）	
平成10年	星ヶ丘訪問看護ステーション開設	
平成10年	老人性認知症疾患療養病棟認可 （平成18年 治療病棟認可）	578床
平成11年	精神科急性期治療病棟認可	
平成14年	病院機能評価認定 （平成20・24・29年更新）	
平成29年	精神科専門医制度基幹型病院指定	
平成30年	デイケアルームリニューアルオープン	
平成31年現在	病床数	555床

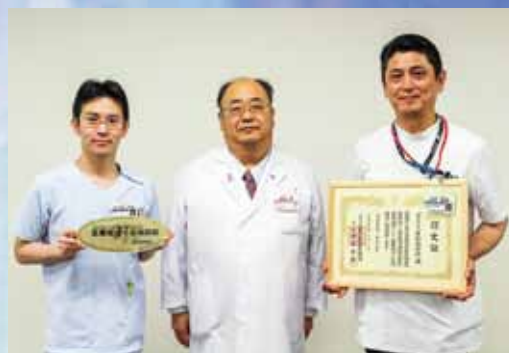


県中地域初の

「医療被ばく低減施設」

に認定されました!

2019年1月、星総合病院は、会津の竹田総合病院、いわきの福島労災病院に続き県内3番目、東北4番目の「医療被ばく低減施設」の認定を受けました。



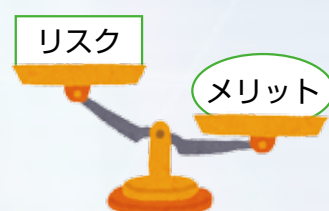
左から佐久間係長、野水病院長、白石技師長

○「医療被ばく低減施設」とは？

現在の医療の中で欠かすことのできない放射線診療での「被ばく」を

1. 必要最低限にする 「メリット」 > 「リスク」
2. 患者さんにとって安心で安全なものにする

ために「公益社団法人日本診療放射線技師会」が認定しています。



○ 認定までの流れ

書面審査 (必須評価項目に対し、一定の対応がなされているか)



訪問審査 (複数名のサーベイヤーが施設を訪問し、審査)



「公益社団法人日本診療放射線技師会」の合格基準を
満たした施設を認定 (認定期間 5 年)



訪問審査の様子

内 容

- ・一定基準以上の検査機器・医療機器を揃え保守・点検されているか
- ・適正な検査を行うための施設内の仕組みがきちんと整っているか
- ・スタッフへの教育、啓発が定期的になされているか
- ・患者の疑問や不安に対して説明がきちんとできる仕組みが整っているか (データ管理、スタッフ教育、マニュアル整備 等)
- ・放射線管理士・放射線機器管理士が配置されているか など

→「患者さんが安心して安全な放射線診療を受けられる」ための審査



星総合病院 放射線科

東日本大震災後「被ばく」への意識が高まる中で、より安全に安心して医療を受けられるよう努力し続けることは大きな意味を持つものと考えます。

今後も「患者さんにとって最適な医療」の提供のため、努力してまいります。

開設94周年記念式典

4月18日、星ヶ丘病院体育館において記念式典を挙
行、職員・関係者約500名が出席しました。

星理事長の式辞に続き表彰を行い、勤続35年表彰の
介護老人保健施設オリオン 伊藤八重子 統括管理者
が謝辞を述べました。



特別
表彰

◆ ベストトレーニー賞

(法人施設実習生のうち最も優秀な態度で研修に臨んだ者)

星総合病院看護部での実習中、常に真摯な態度で患者・ス
タッフに接し、学びを活かしながら積極的に学ぶ姿勢が他の模
範となった。以前にも推薦されたことがあり、向上心を持って
継続的に努力を重ねる姿に今後の活躍が期待される。

大須賀 愛 (ポラリス保健看護学院4年次)

◆ ベストトレーナー賞 (法人施設の実習指導者のうち特に優秀な職員)

きめ細かく丁寧な指導により実習生の目標達成をサポート。所属
学校の高評価や新卒者の入職につながるなどその指導が目に見える
形で実を結んだ。実習生のアンケートにも多く名前が上がり、信頼
も大きかった。

板橋 仁美 (星総合病院 総合相談課 社会福祉士)



◆ 年間エース賞 (他の模範となる勤務成績・業務上有益な創意工夫をした者)

◇ 常に相手に寄り添った丁寧な対応で利用者・職員の信頼も厚く、
当法人に多大な貢献をされた。

石井 利男 様 (株式会社アサヒビルサービス 警備)

◇ 日頃の警備・清掃業務に加え、様々な場面で利用者の立場に立っ
た創意工夫で安心して快適に過ごせる施設管理に多大な貢献をさ
れた。

株式会社アサヒビルサービス 様 (感謝状)

◇ たゆまぬ努力と卓越したチームワークで目標を達成し、法人運営に多大な貢献をした。

星総合病院 放射線科

◇ 当法人の理念のもと卓越したチームワークで地域保健医療の貢献と発展を目指す公立小野町地方
総合病院の運営支援において多大な貢献をした。

公立小野町地方総合病院 病院運営支援チーム





◇ 35年表彰 (8名)
 木島 幹博 星 淳子
 佐久間浩樹 藤田 祐子
 藤橋 泉 遠藤恵美子
 荒木江里子 伊藤八重子

◇ 30年表彰 (8名)
 野水 整 氏家 憲一
 渡辺 剛 吉田 正明
 長沼 夏美 渡辺多津子
 佐藤 美幸 三輪 智子

◇ 25年表彰 (10名)
 渡辺 直彦 緑川 眞一
 内藤 久江 橋本かおり
 佐藤とし恵 滝澤 礼子
 岩崎富士子 瀬上 憲
 片岡 京子 塚原由起子

◇ 20年表彰 (16名)
 栢本 裕幸 中島 聡子 崎山 栄子
 鈴木 和代 遠藤久美子 橋本 静代
 池上 徳喜 小檜山礼子 藤島映美子
 佐々 久美 高松 洋子 矢吹由香里
 林 恭子 長尾ヒデヨ 増子 月子
 佐藤 成愛

◇ 15年表彰 (15名)
 森 東 塩澤 広毅 長尾 光祥
 森 洋子 武内 美歩 遠藤 明美
 古川 淳子 神尾 悠美 二階堂沙織
 佐久間陽子 佐藤 淳美 樽川 佳代
 家久来南保子 柴崎かつみ 三保 京子

◇ 10年表彰 (49名)
 星 宏治 會田 梨恵 佐藤 祐奈
 佐瀬ひろの 結城 利佳 菊池 知美
 竹内若香葉 平田あかり 小林加奈恵
 半谷みゆき 遊佐祐梨菜 佐々木和哉
 高橋 紀衣 湯佐 慶 春日美由起
 菅野美奈子 井戸沼俊英 岡部 真美
 鹿子田美恵 古川 崇 荒瀬 洋子
 青山 美幸 三瓶 秀幸 山崎亜希子
 黒岩堂瑞穂 横塚マリナ 島拔 勤
 竹内 玄德 斎藤 明子 青木 真弓
 木津明日美 島拔 洋子 金澤 麻衣
 西間木江梨 関根真由美 深谷佳奈子
 椎名 亨 根本ますみ 飛田 和寛
 太田百合恵 遠藤 勝幸 塚原 朋子
 佐治奈津弥 増子 静江 釣巻 倫子
 伊藤 歩美 木元 彩乃
 小林とし子 星 睦生



式典終了後は院内レストランや栄養科特製の料理で懇親会を行い、満開の桜に囲まれて受賞者をお祝いしました。

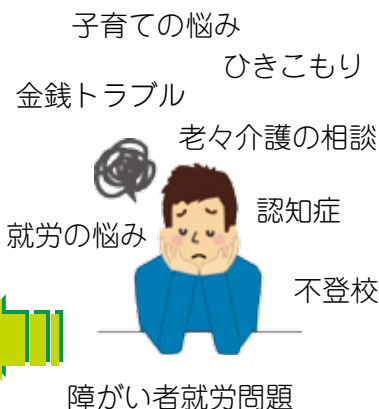
ご存知ですか？

郡山市福祉まると相談窓口

障がい、子育て、高齢者、就労など、さまざまな問題を抱える場合にはそれぞれに相談・支援機関があります。

各種相談・支援機関にご相談ください

- ・病院
- ・ハローワーク
- ・保健所
- ・社会福祉協議会
- ・居宅介護支援事業所
- ・消費生活センター
- ・自立支援相談窓口
- ・障がい者支援事業所
- ・高齢者あんしんセンター
- ・NPO
- ・こども家庭相談センター
- ・年金事務所
- ・市民相談センター



どこに相談したら
いいかわからない
？
いくつも重複した
問題がある



問題が多くて
整理できない

こんなときは…

「郡山市福祉まると相談窓口」
にご相談ください！

郡山市には3つの相談窓口があります。



☆北東エリア ☎ 024-954-3211

(芳賀・小原田高齢者あんしんセンター内併設)

※郡山市の委託を受けて星総合病院が担当

担当地域

芳賀・小原田・富田・片平・喜久田・
日和田・西田・富久山・緑ヶ丘・中田

☆南西エリア ☎ 024-945-2778

(安積高齢者あんしんセンター内併設)

担当
地域

橘・三中・桜・久留米・安積・田村・
大成・大槻・逢瀬・三穂田

☆中央・湖南・熱海 ☎ 024-924-3822

(郡山市役所保健福祉総務課自立支援係内)

担当
地域

金透・薫・赤木・芳山・桃見台・大島・
開成・桑野・湖南・熱海

● 8050問題 ●

80代の親が50代の子供の生活を支えている問題。「ひきこもり」の子供が50代となり親も高齢化。社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなるケース。

● 制度の狭間問題 ●

障がい、子育て、介護などの様々な支援制度のどの制度にも当てはまらず、支援の仕組みからこぼれ落ちていての方への対応。

● ダブルケア ●

子育てと親の介護が同時期に発生する状態。核家族化、親戚関係の希薄などから、子育てや介護の負担をひとりで抱え込むケース。

☆こども事業部News☆

☆ 子育て応援プログラムのご案内 ☆

「子供に関わる全ての方の幸せ」を目指すこども事業部では、年間を通して研修会を企画しました。子育て中の方だけでなく、これから子育て予定の方、興味のある方、孫守り世代の方などどなたでも参加いただけます。

4月22日(月)	14時～	「発達障害について」	ポラリス保健看護学院3F
6月22日(土)	午後	「小児BLS(心肺蘇生)」	大町キッズベース
8月下旬	夕方	「こども危険予知講座」	メグレスホール
9月21日(土)	午後	「食育について」	大町キッズベース
10月26日(土)	14時～	「子育て支援」	メグレスホール
11月16日(土)	午後	「小児のスキンケア」	大町キッズベース
12月上旬	夕方	「こども危険予知講座」	メグレスホール

※日程や内容が変更になる場合がございます。

※詳細についてはその都度、案内チラシを作成します。
施設内案内・facebookをご確認いただき、お申し込みください。

**参加費
無 料**

お問合せ 公益財団法人星総合病院 こども事業部 事務局 渡辺
☎ 024-983-5511 (代)
e-mail : kodomo-jim @ hoshipital.jp

院展入選作品「希望」除幕式

福島市在住の日本画家 斎藤勝正先生から再興103回院展入選作品「希望」を寄贈いただき、1月に除幕式を行いました。“医療機関を利用する方々を明るく照らしたい”との先生の思いからこの度の寄贈が実現しました。星総合病院診療棟2階ロビーに展示、院内が明るい雰囲気になっています。



左から野水病院長、星理事長、斎藤勝正先生、丸山総長

医療法人 星富久山医院



- 所在地 〒963-8071
郡山市富久山町久保田字久保田 91-1
TEL 024-932-1608
- 診療時間 【月～金】8:30～12:00、13:30～18:00
【土】8:30～12:00、13:30～17:00
- 休診日 日・祝祭日
- 開設者 星 雄一郎
- 診療科目 内科・循環器内科

時代を先取りしたクリニック

午後の休憩時間の星富久山医院に伺いました。そこには吹き抜けの待合空間が広がり、笑顔の受付事務の方が理事長を呼んで下さいました。待合スペースに隣接するホールに案内して下さいしたのは星雄一郎理事長でした。クリニックの中のゆったりとした多目的ホールは、患者さんのくつろぎの場であり、スタッフの勉強の場となるとの説明を受けました。(壁にはプレゼン用収納型スクリーン)

ご案内いただいたクリニック内部は天窓から自然光を取り入れた設計で、診察室・血圧測定室・レントゲン室・検査室・リフレッシュルーム(立派な卓球台が鎮座)、全室がバリアフリーで歩きやすい構造。新築かと見間違ふこの建物は平成14年に改築されたとのこと。17年間を感じさせないクリニックの設えは、どんな時代が到来するのかを知って建てられたかのようにでした。

華麗なる一族

先生は星家の家系図を見せて下さり丁寧に説明して下さいました。

雄一郎理事長のお父様、星六男前星富久山医院理事長と、星総合病院初代理事長の星一郎先生はご兄弟であること。いとこの星二郎元星ヶ丘病院長とは誕生日が2週間しか違わない同期であること。同じくいとこの星信也元法人企画室長と「だんご3兄弟」と親しんでおられたこと。お父様の7人のご兄弟は5名もの方が医師であることや、その子



や孫の多くの方々が医師として活躍されていることなど、華麗なる家系図の中に地域の医療を支える血脈を見ることが出来ました。

自然体のヒミツ

星富久山医院は先代の六男理事長が60年前に開業されました。雄一郎理事長は、現在ご長男の誠一郎院長(循環器専門医)と外来診療を行っておられます。中学校時代には生徒会長をされ、医師になられてからは小学校の校医をお引き受けになるなど、いつも多くの人の輪の中で活躍されて来られました。今回、私生活でのお話も沢山して下さいました。同級生の高善兵衛氏のお姉さまと床屋帰りに偶然会われたエピソード、その方のご縁で奥様との出会いが進められたこと、一目ぼれでご結婚されたこと、嬉しそうに語られる先生の目の中にお美しい奥様の姿を想像することができました。間もなく84歳を迎えられる先生が長きに渡り自然体でご活躍される原動力は奥様の存在でした。

心を若くして

何歳まで診療されるかをお伺いしました。

「84歳は通過点です。自分は父親と10年間仕事が出来ました。そして、今まで20年間息子と一緒に仕事が出来たことを本当に幸せなことだと感謝しています。在宅診療は別の医師にお願いしていますが、目の前の患者さんが抱える孤独に身を寄せて、その家族にも寄り添って診療を続けていきたいと思っています。患者さんやスタッフ、連携の先生方みなさんが先生です。心を若くして何事にも意欲的にチャレンジしながら日々の努力を果たしたいと思います。」

編集後記

取材の間中、ほのぼのとする安心感と居心地の良さがありました。「話すことが好き」とおっしゃって1時間たっぷりお話し下さいました。そして帰りの見送りまでして下さいました先生に敬意と感謝を申し上げます。

(公益財団法人 星総合病院 法人広報部 佐藤 美重)

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／法人広報部

発行日／令和元年5月

住所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号

公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7
TEL 024-952-6411
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地
TEL 0247-62-3131
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-956-7778
- 星訪問看護ステーション
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-956-2322
- サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 024-982-1711
- サテライトしずか
〒963-0209 福島県郡山市御前南5丁目18番地
ウエストパークB棟102号
TEL 024-983-6410
- サテライト三春(三春病院内)
TEL 0247-73-8270
- 介護老人保健施設オリエント
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天2
TEL 024-952-6413
- 芳賀・小原田地域包括支援センター
〒963-8822 福島県郡山市昭和2丁目17-2
TEL 024-941-1121
- 星総合病院在宅介護支援センター
(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-983-5515
- 居宅介護支援事業所星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 024-952-6414
- 養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1
TEL 0247-62-3618
- ボラリス保健看護学院
〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010
- 大町キッズスペース
〒963-8001 福島県郡山市大町2丁目3-26
TEL 024-953-5401
- ほしのご保育園
〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-951-0788
- 星ヶ丘保育園
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7-3
TEL 024-951-0788
- 三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7759 福島県田村郡三春町担橋1丁目4番地の1
TEL 0247-62-3839
- 三春町第2保育所(指定管理)
〒963-7719 福島県田村郡三春町字貝山字泉沢100-1
TEL 0247-62-2748